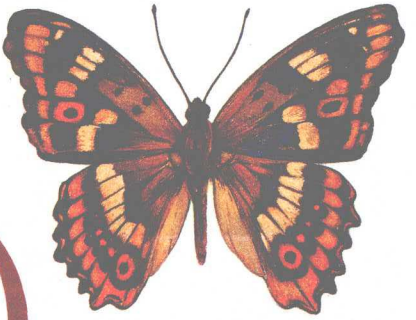
戯曲

オルフエウス



Ὀρφεύς

阿部剛士

八重岳書房

戯曲
“オルフォウス”

ΟΡΦΕΥΣ

阿部剛士

八重岳書房

戯曲オルフェウス

（検印省略）

一九九二年一月三十日 印刷
一九九二年二月 十日 発行

著者 阿部剛士
発行者 松田好行
印刷所 株式会社 大成舎
発行所 株式会社八重岳書房
〒一六二 東京都新宿区白銀町一三
電話（〇三）三二六八—三五六七
FAX（〇三）三二六〇—八四四六
振替 東京 七—一九二八一番

© TSUYOSHI ABE

乱丁・落丁本はお買い求めの書店または小社にてお取りかえいたします。 ISBN 4-89646-143-6 C0098

目　次

1　婚礼の宴（うたげ）　5
2　悲しみのオルフェウス　28
3　冥府へ降（くだ）る　41
4　復讐の女神たち（エリニュース）　44
5　スサトン　60
6　判官ミノース　76
7　イオルコスの大門（1）　81
8　イオルコスの大門（2）　94
9　イオルコスの大門（3）　102

10 冥王ハデスの館(やかた) 125
11 控(ひかえ)の間 139
12 地上へ 152
13 メドゥーサの独白 161
14 絶望の詩(うた) 176
15 奸計(かんけい) 183
16 ディオニュソスの祭り(狂乱の宴) 197

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

戯曲 オルフェウス

1　婚礼の宴（うたげ）

舞台中央に玄関を向けた家、その手前には季節の花々で飾りつけられたテーブルが並び、婚礼の宴の準備がされている。玄関の扉の両脇には結婚式の縁起物（えんぎもの）のヒュメインの炬火（たいまつ）[1]が掲げられている。婚礼の宴に呼ばれた人々が何やら楽しげに話しながら新婚夫婦が家の中から出て来るのを待っている。

（この場面では、咲き乱れる美しい花々と明るい陽光を強調する。そして、軽快なテンポの楽しい会話、この幕の明るい情景は後の暗黒の冥界との両極の対比を計るものである）

トラキアの娘1　ああ、やっぱりオルフェウス[2]が選んだのはエウ

リュディケ[3]だったわ。私は小さい頃からオルフェウスのお嫁さんになるのが夢だったのに……。

トラキアの娘2　あら、私だってそうよ。何度オルフェウスが私の夢の中に現われて、私をやさしく抱いてキスをしてくれたことか。

トラキアの娘3　あら、私だってそうだわよ！　オルフェウスの竪琴の調べと、あの美しい詩だけが私の心の慰めだったのに……。それがこれからはエウリュディケだけのために捧げられるのかと思うと悲しくて悲しくて、昨日なんか一晩中泣きどおし。おかげで今日はほら！　こんなに眼が腫れちゃって……嫌だわ、こんな顔オルフェウスには見せられない。

トラキアの娘1　あなたの眼はもともと腫れぼったい感じだったから他の人は気づきはしないわ。心配しなくても大丈夫。ほんとよ。全然判らないわ。

トラキアの娘3　あら！　どういう意味よ！　もしかしたらアタシのことを馬鹿にしているのかしら？

トラキアの娘1　別にどういう意味もないわ。あなたはいつものあ

1　婚礼の宴

なたらしく綺麗だっていうことよ。とってもチャーミングよ。特にその眼が……。そんなことより、私の今日の衣裳はどうかしら？　花嫁よりも目立つといけないから、なるべく地味目にしてきたつもりだけど……。（娘2に向って）ねえ、どうかしら？

トラキアの娘2　あなた、まさか今日のこの期に及んでもまだエウリュディケと張り合おうと思ってるんじゃないでしょうね！　地味どころか、その辺の祭りの踊り子よりもよっぽど派手だわ。

トラキアの娘3　それにその厚化粧。今日のこの天気だと汗をかきそうだから、その厚化粧が汗で流れて化けの皮が剝がれないように注意することね。まだらになった顔で気づかずにオルフェウスに笑いかけないでちょうだいね。このおめでたい日に妙なものを見ると気分を悪くするでしょうから。

トラキアの娘1　まあ、失礼な。私は最後にオルフェウスに綺麗な自分を見てもらいたいだけよ。あなたこそ、そのピンクのリボンで飾りたてたその髪こそ、どこか売春婦みたいでいかがわしいわ。

トラキアの娘3　まあ、まあ、まあ、言うにこと欠いて、この私が

売春婦ですって!? 冗談じゃないわ。私のオルフェウスに対する想いは、他の誰よりも純粋で美しいものだわ。妙ないんねんつけて、オルフェウスを愛するがゆえに身をひいたこの私の気持ちを穢さないでちょうだい。

トラキアの娘2 あら、よくおっしゃること。あなた、そんなことを言っておきながら、この間は誰かさんと麦畑でお楽しみのようだったけど、あれは私の眼の間違いかしら? 青い麦草の間に間に、そのピンクのリボンが風にユラユラとなびいていたようだったけど……。

トラキアの娘3 あら、あなた、あの時のことを見ていたの!? あれは違うの、あれは何でもないわ。誤解よ! あの時のあの人はただのお友だち。ひさしぶりに会ったものだから話がハズンじゃって、つい……。

トラキアの娘2 つい? つい何かしら?……やっぱりあなたの愛情はあてにならないわ。私のオルフェウスに対する愛こそ本当に純粋なものなのよ! その証拠に私はオルフェウスがエウリュ

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

ディケと結婚しても諦めるつもりはないわ。いつかきっとオルフェウスの心を私の方に向けさせてみせる。

トラキアの娘3　フン！　そんな馬鹿なことがあるものですか。あなたとエウリュディケを比べたらまるで月とスッポン。豚と蝶々だわ。まったく往生際が悪いったらありゃしない。この私でさえ今日を限りで諦めようと思っているのに。結婚してからまであんたなんかにつきまとわれたらオルフェウスが迷惑よ！

トラキアの娘4　まあ、まあ、まあ、あんたたちそれくらいでやめときなさいな。このおめでたい席で口ゲンカなんてみっともないわ。まったく寄ると触わるとケンカばっかりで、まるでアヒルの日光浴だわ。今日は仲良しのエウリュディケとオルフェウスの結婚式なんだから、せめて今日だけでも仲良くしていてちょうだい。さあ、もうじき二人が家の中から出て来る頃よ。みんなで二人を祝福しましょうよ！　さあ、明るい笑顔で二人を迎えましょう。

トラキアの娘1　ほら、ごらんなさい。そう言っている間に二人が出て来たみたいよ！

（キューピッドの格好をした二人の少年少女を先頭に数人の子供たちに囲まれてオルフェウスとエウリュディケが登場する。オルフェウスは金の竪琴を片手に、もう一方の手をエウリュディケの手に、エウリュディケは白い衣裳を纏い大小様々の花を飾りつけ、さながら花の妖精のように美しい）

少年少女の合唱

咲きほこる花の香りにさそわれて
一匹の蝶がおとずれた
花の姿に魅せられて
蝶々はウットリと
フワフワフワリ、ヒラヒラヒラリ
蝶々はきれいな花にキスをした
きれいな花はエウリュディケ
キスした蝶はオルフェウス
そして楽しい恋が始まった

1　婚礼の宴

蜜の甘味に酔いしれて
蝶々はウットリと
フワフワフワリ、ヒラヒラヒラリ
上手なキスに頬を染め
きれいな花はウットリと
ユラユラユラリ、フラフラフラリ
明るい五月の空の下
蝶と花は結ばれた
今日のこの日はめでたい日
今日のこの日が婚礼の宴
おめでとう
おめでとう
みんなで二人を祝いましょう
末永く健康で
末永く幸せに
永遠に仲良く手をつなげ

幸せの日には一つであれ
きびしく寒い日にこそ一つであれ

トラキアの娘たち　（一同）わあ！　なんて綺麗な花嫁さん。

トラキアの娘2　やっぱりエウリュディケにはかなわない。

トラキアの娘3　それにあのうれしそうな笑顔。

トラキアの娘1　この明るい五月の太陽を身体いっぱいに受けとめて輝いている。

トラキアの娘4　きっと太陽の神アポロン[4]も今日の二人の婚礼を祝福していらっしゃる。

トラキアの娘3　ああ、二人の髪の毛が今一つになってからみ合い、光の中に溶け込みそう。

トラキアの娘1　やっぱりエウリュディケにはかなわない。オルフェウスを愛する心があの女(ひと)をさらに美しく輝かせている。きっと天上の女神ヘラ[5]もエウリュディケを祝福していらっしゃる。

トラキアの娘4　美しい身体にやさしい心が宿ったすばらしい女性

エウリュディケ、くやしいけれど今日だけは誰も彼女にかなわない。

トラキアの娘1　あの二人は今日、この時、神々の祝福を受けて一つになるのだわ。

（中央にオルフェウスとエウリュディケが立ち皆に祝福を受ける。杯（さかずき）に酒が満たされ、一同、高だかと掲げる）

一同　乾杯！　おめでとう！

（紙ふぶきと歓声の中、二人は固く抱き合う）

オルフェウス　今日、この時、私はエウリュディケを我が妻としてこの家に迎えました。神々のやさしき大きな御手（みて）のお導きで、私たちは巡（めぐ）り会い、今日このように一つに結ばれることができました。たとえ行く末にどのような試練が待ち受けていようとも、けっして今日の喜びを忘れることなく固く手を取り合い、二人で幸福な人生を築いてゆかなければなりません。良い事もあれば悪い事もあるでしょう。しかし、どのような事があろうとも、互いの命の尽きる日が来るまで、二人の愛は永遠に変わることのない

ことをここに誓います。

アポロンよ！　あなたのその明るい太陽の光で我ら二人を祝福していて下さい。そして、今日ここに集まってくださった皆様方、本当にありがとうございます。今日はささやかながらも料理と酒が用意してありますので、おおいに飲んで騒いでいって下さい。我ら二人にとっては一生に一度だけの最良の日なのですから。

（一同、歓声。二度乾杯の声）

トラキアの娘1　ああ、本当に二人はよく似合っている。

トラキアの娘3　やっぱりオルフェウスはエウリュディケに夢中だわ。私のことなんか眼に入ってやしない。

トラキアの娘4　愛する者どうしが結ばれるんですもの、私たちの分まで幸せになってもらわなくちゃ……。

トラキアの娘1　そうよ、そうだわ。二人の幸せな姿が、私たちの気分まで明るくさせる。さっきまでの焼きモチがまるで嘘のようにどこかへ飛んでいっちゃった。

トラキアの娘3　そうね、今日は本当にいい気分。私も早くいい人

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com